

〔教育委員会 生涯学習課 所管〕

03020111 児童クラブ運営事業

決算書P. 239

(単位：千円)

	平成28年度	平成27年度	差	主な名称
事業費	110,664	116,843	△ 6,179	
国庫支出金	19,807	19,577	230	子ども・子育て支援交付金(放課後児童健全育成事業)
県支出金	19,826	19,556	270	子ども・子育て支援交付金(放課後児童健全育成事業)
地方債				
その他	42,768	35,164	7,604	児童クラブ入所負担金, 児童クラブ運営業務委託料返還金外
一般財源	28,263	42,546	△ 14,283	

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

留守家庭児童を対象として、放課後帰宅しても保護者(父・母)及び同居親族の就労又は疾病等により、留守家庭となる小学生を預り、安全な居場所や遊びの場を与えて児童の健全な育成と保護者の就業継続に寄与する。

【今年度の取組】

利用児童数の増加により、平成29年度黒内小学校校区に2クラブ開所することから、支援員を6人増員する委託契約の変更をした。今後も委託先と協議し、適正な人員確保を行い、利用児童の増加等に対応したい。



児童クラブ専用室内での活動(学習の時間)

【成果の動向】

民間委託により、支援員の確保や各クラブの現場でのきめ細かい指導ができることになったことから、前年に比べ成果は向上している。

【今後の事業の方向性】

年々利用者が増加しており、今後、平成26年度に設置した守谷小児童クラブも定員数を上回ることが見込まれるため、今後の運営について協議していく。

03020112 黒内小学校児童クラブ建設事業

決算書P. 241

(単位：千円)

	平成28年度	平成27年度	差	主な名称
事業費	81,154	7,967	73,187	
国庫支出金	33,284	0	33,284	子ども・子育て支援整備交付金
県支出金	8,240	0	8,240	子ども・子育て支援整備交付金
地方債				
その他				
一般財源	39,630	7,967	31,663	

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

待機児童が生じないように施設を増設することで、放課後や長期休暇などに児童が安心・安全な居場所を確保する。

【今年度の取組】

地質調査の結果、地盤が軟弱だったため、地盤強化のために費用が高額であったが、無事故で工期内に児童クラブを完成することができた。

【成果の動向】

待機児童が生じずに、児童クラブの運営が図られた。

【今後の事業の方向性】

施設の増設により、放課後や長期休業期間の児童の居場所が確保された。平成28年度で事業終了。今後、待機児童が生じる場合は、事前に対応していく。



黒内小学校第3・第4児童クラブ

	平成28年度	平成27年度	差	主な名称
事業費	1,341	1,363	△ 22	
国庫支出金				
県支出金				
地方債				
その他				
一般財源	1,341	1,363	△ 22	

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

市民が日常的に芸術に親しみ、生きがいや楽しみを持って生活を送ることで、市に愛着を持ってもらう。(定住意欲を促進する)。

また、庁舎で開催することで、行政を身近に感じてもらい市に愛着を持ってもらう。更にはプロと同じステージに立つことで、音楽サークルの活動意欲の向上を図る。

【今年度の取組】

4回開催から3回開催に変更し、業者委託料及び職員人件費の削減を図るとともに、様々なジャンルのサークルに参加を促し、内容の充実を図った。

【成果の動向】

予想以上に観客数が減少した。これは、開催日数を1日減らしたことに加え、天気が不安定な日が多かった(3日のうち2日)ためと思われる。

【今後の事業の方向性】

来場者のアンケート結果では、リピーターが多く、毎年楽しみにしている方は確実にいるので、より一層PRに努め、来場者の拡大に努める必要がある。



プロ演奏
(パノラマスティールオーケストラ)

	平成28年度	平成27年度	差	主な名称
事業費	12,496	15,528	△ 3,032	
国庫支出金				
県支出金				
地方債				
その他	811	717	94	もりや学びの里使用料, もりや学びの里貸付料外
一般財源	11,685	14,811	△ 3,126	

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

世代を超えて利用できるコミュニティ施設として、市民が安全で快適な学習や趣味活動ができる環境を整え、社会教育活動の充実及び推進を図る。

【今年度の取組】

施設・設備の不具合による修繕を行った。
[内容] 電気スイッチ修繕, 陶芸窯修繕, 漏電調査及び照明器具修繕, 火災報知器設備交換, 変圧器絶縁油浄化剤投入, 非常灯修繕, 窓ガラス修繕

【成果の動向】

国体実行委員会事務局, 総合教育支援センター, アーカススタジオが共用する複合施設となっているため, 多くの市民が訪れる。また, 陶芸窯や防音設備の整った音楽活動室, 体育館, バーベキュー施設など他の施設にはない設備があり, 市民の学習, 趣味や余暇活動の場として, 多くの団体・サークルに活用されている。

今後も適切な施設の維持・管理を行い, サークル活動の支援と学習機会・場の提供を図る。

【今後の事業の方向性】

利用者が安心・安全で快適に学習活動ができるよう, 適切な施設整備を行う。



もりや学びの里正門

	平成28年度	平成27年度	差	主な名称
事業費	999	1,495	△ 496	
国庫支出金				
県支出金				
地方債				
その他				
一般財源	999	1,495	△ 496	

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

スポーツ及び文化の振興を図り、市民の健康づくりと文化意識の高揚に寄与する。

【今年度の取組】

広報に掲載することにより、幅広い方々に周知、情報発信をした。(将来有望な選手の発掘情報としても活用される。)

【成果の動向】

スポーツ・文化等で全国大会及び国際大会出場の功績に対して記念メダル及び奨励金を交付しており、平成28年度は、主にスポーツ分野で、ハンドボール、水泳、バドミントン等の競技で、小中高校生が活躍した。



奨励金交付対象者への授与式

【今後の事業の方向性】

スポーツ・文化に親しむ市民が増え、将来有望な選手の育成につながる。

今後も、継続して功績をあげた市民の栄誉を讃え、市のスポーツ及び文化の振興と発展に寄与してもらおう。

	平成28年度	平成27年度	差	主な名称
事業費	920	920	0	
国庫支出金				
県支出金				
地方債				
その他				
一般財源	920	920	0	

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

芸術文化の振興を目的に活動する守谷市文化協会の自主的な事業を支援し、美術展、音楽会、各種講座などを継続して実施してもらうことで、市民の交流と芸術文化活動の向上を図る。

【今年度の取組】

従来の成果や取組みを踏まえて、市民のニーズに対応した事業を実施するよう協議した。

【成果の動向】

平成28年度においては大きな事業の見直しは無く、従来どおりの事業を継続している。



第40回芸術祭(菊花展)

【今後の事業の方向性】

平成29年度からは自主財源による事業実施など、事業計画の改善をする。また、シルバー世代の活動の場としていく。

会費の見直しや事業の有料化、助成団体の補助金利用など、市補助以外の財源確保を視野に入れて活動するよう指導していく。

	平成28年度	平成27年度	差	主な名称
事業費	667	715	△ 48	
国庫支出金				
県支出金				
地方債				
その他				
一般財源	667	715	△ 48	

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

新成人による運営委員会を組織し、人生の節目を記念して成人式を実施し、次代の担い手として今後の活躍を願い祝福することで、成人としての自覚を持ってもらう。

【今年度の取組】

各中学校への運営協力員推薦依頼時に対象要件の拡大を図り、多数の協力を得ることができた。また、運営協力員募集時は、運営協力員同志のつながりでSNSを活用して協力を得ることができた。

【成果の動向】

既に、毎年約7割の参加率があり、恒例的な催事であることから、現在以上の成果向上の余地はない。

【今後の事業の方向性】

守谷市を担っていく市民として、若者の成人を祝う大事な式であると同時に、成人としての自覚を持っていただく事業であるため、引き続き継続していく。



成人式運営協力員の皆さん

	平成28年度	平成27年度	差	主な名称
事業費	56,346	56,307	39	
国庫支出金				
県支出金	12,672	13,273	△ 601	放課後子供教室推進事業費補助金
地方債				
その他	5,715	4,750	965	放課後子ども教室事業保護者負担金
一般財源	37,959	38,284	△ 325	

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

放課後に小学校の施設を活用して、子ども達の安心・安全な活動場所を設け、異年齢で遊んだり地域の方々子ども達の活動を支援してもらうことにより、子どもの交友関係の広がりや地域の教育力の向上につながり、子ども達が地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる。

【今年度の取組】

放課後子ども総合プラン実行委員会及び各小学校の放課後子ども総合プラン運営委員会で無料日の廃止について協議・検討した。

【成果の動向】

数年前から実行委員会においても、無料日の取扱いについて意見が出されていた。

また、子ども教室参加児童よりも年々児童クラブ利用児童が増え、合同活動(教室児童・クラブ児童)の際に活動場所(学校施設)も手狭になっている状況である。

【今後の事業の方向性】

無料日の廃止に向けて、実行委員会において協議の結果、無料日の廃止の承諾が得られたので、今後は、各小学校保護者に子ども教室の無料日の廃止についての周知・規則改正等を実施する。



地域ボランティアの協力による合同活動の様子

10040202 文化財保護事業

決算書P. 429

(単位：千円)

	平成28年度	平成27年度	差	主な名称
事業費	911	1,321	△ 410	
国庫支出金				
県支出金				
地方債				
その他				
一般財源	911	1,321	△ 410	

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

市内に存する有形無形の文化財を保護し、未来に伝えていく。
また、郷土資料を適切に活用することで文化財愛護や郷土理解の心を育てる。

【今年度の取組】

- ・文化財保護強調週間の取組として、小学生以上の親子10組を対象に、「縄文クッキーを作ろう」を実施し、市内で出土した石器を紹介するなど、文化財の愛護思想啓発を図った。
- ・平成29年度から文化財保護審議会開催事業と統合するため、事務事業の整理を行った。



天然記念物「エノキ」の消毒作業

【成果の動向】

市内遺跡、遺構の想像復元模型など郷土資料展示コーナーの活用や見学者が少ない状況にある。

今後、展示コーナーの再整備と更なる郷土資料の周知と保存に取り組み、成果の向上を図る。

【今後の事業の方向性】

先人が残した貴重な古文書の保管場所を確保するとともに、調査・研究を進める必要がある。
様々な方法でより多くの市民に、市指定文化財を周知する必要がある。

10040401 中央公民館運営管理事業

決算書P. 431

(単位：千円)

	平成28年度	平成27年度	差	主な名称
事業費	57,352	54,289	3,063	
国庫支出金				
県支出金				
地方債				
その他	548	677	△ 129	公民館貸付料, 公民館施設行政財産使用料
一般財源	56,804	53,612	3,192	

(単位:千円)

	平成28年度	平成27年度	差	主な名称
事業費	17,304	19,149	△ 1,845	
国庫支出金				
県支出金				
地方債				
その他				
一般財源	17,304	19,149	△ 1,845	

(単位:千円)

	平成28年度	平成27年度	差	主な名称
事業費	18,843	18,570	273	
国庫支出金				
県支出金				
地方債				
その他				
一般財源	18,843	18,570	273	

(単位:千円)

	平成28年度	平成27年度	差	主な名称
事業費	22,203	21,324	879	
国庫支出金				
県支出金				
地方債				
その他				
一般財源	22,203	21,324	879	

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

- ・利用者が安全で快適な学習活動ができる場所を提供する。
- ・指定管理者による管理・運営により、市民ニーズに効果的、効率的に対応し、民間の能力活用とサービス向上を図る。

【今年度の取組】

設備の不具合を定期的に聴取し、計画的な修繕を行った。

【成果の動向】

指定管理者(民間)のノウハウだけではなく、公民館運営協力員が企画した講座を取り入れ、講座参加者が増えるなど成果が向上している。

今後も、地域住民が気軽に来館できるような自主事業を計画することにより、更なる来館者増が見込まれる。

【今後の事業の方向性】

- ・指定管理者と公民館運営協力員、サークル代表者、地域住民が連携・協力して講座、イベント等を作り上げる体制を継続させる。
- ・老朽化している施設を計画的に修繕する。



中央公民館



左 : 郷州公民館
 中 : 高野公民館
 右 : 北守谷公民館

	平成28年度	平成27年度	差	主な名称
事業費	189,814	191,134	△ 1,320	
国庫支出金				
県支出金				
地方債				
その他	1	132	△ 131	中央図書館施設行政財産使用料
一般財源	189,813	191,002	△ 1,189	

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

市民の文化・教養の向上を目指し、自由で公平な資料提供を中心とする図書館活動により、教育と文化の発展に資する。

【今年度の取組】

指定管理者の運営となり、開館日数と時間の増加が図れた。それに伴い利用者数と貸出数も増加した。

【成果の動向】

平成28年4月1日から指定管理を導入し、年間343日開館、開館時間も9時から19時となったことで利用者にとって十分な利用環境となった。一方、レファレンスなど専門性が必要とされるサービスの低下が見られた。

今後は、外部機関が開催する研修会への参加、内部研修等によりスタッフの専門性の向上を図る。

【今後の事業の方向性】

市民一人当たりおよそ500円の資料費を維持することにより、市民の求める幅広い資料の収集に努める。

また、図書館ネットワークを活用した図書の貸出、返却、予約、リクエスト、レファレンスなど質の高いサービスの提供を行う。



館内の図書資料

	平成28年度	平成27年度	差	主な名称
事業費	1,600	1,600	0	
国庫支出金				
県支出金				
地方債				
その他				
一般財源	1,600	1,600	0	

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

市民の健康増進と体力向上のため、各種運動競技の普及発展と競技力向上を目的に活動する体育協会の自主的な事業を支援し、市民交流とスポーツ活動の推進を図る。

また、市が主催するスポーツ大会やイベントへの協力などの積極的参画にも期待する。

【今年度の取組】

体育協会会員や加盟団体増加のため、加盟していない競技団体への意向調査、新規加盟を予定している団体へのヒアリングを行った。

【成果の動向】

スポーツを通じて多方面へ貢献している。市のイベントへの協力も得られた。

部会(競技種目が)が1つ増えることに決定した。

【今後の事業の方向性】

加盟することによるメリットが明確にできれば、加盟団体が増え、大会・講習会開催の成果向上も見込める。



市体育協会主催バレーボール大会

	平成28年度	平成27年度	差	主な名称
事業費	2,000	2,000	0	
国庫支出金				
県支出金				
地方債				
その他				
一般財源	2,000	2,000	0	

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

守谷ハーフマラソンに多くの人に参加してもらうことで、幅広い年齢層の人々の健康増進に資するとともに、全国からの参加者に守谷市のすばらしさをPRする。

また、大会運営に多くのボランティアが参加しており、市民相互の交流を深める機会になっている。

【今年度の取組】

- ・ナンバーカードを事前送付にし、参加者への利便性を図った。
- ・参加賞をランナーに人気のあるTシャツに変更した。
- ・大会専用のホームページを立ち上げ、情報発信に努めた。

【成果の動向】

ランナーに対し、大会当日の受付等を廃止したことにより、ランナーや競技係員にも時間的余裕ができ、大会運営がスムーズになった。また、ホームページを立ち上げたことにより、より詳細な情報を発信することができるようになった。



第32回守谷ハーフマラソン スタート地

【今後の事業の方向性】

現在の参加費(高校生以上4,000円, 小・中学生2,000円)で運営して行くことができるのかが課題であり、参加者に対する利便性を向上させるには、一定の経費も必要と考える。

参加者に対する利便性と運営側サイドの負担を軽減しながら、取り組んでいく必要がある。

	平成28年度	平成27年度	差	主な名称
事業費	1,196	1,065	131	
国庫支出金				
県支出金				
地方債				
その他				
一般財源	1,196	1,065	131	

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

中学生が日本最高峰である富士山を登山することにより、自然のすばらしさを知り、仲間と協力し合うことの大切さを学ぶ。

また、団体行動を通して、社会の一員としての自覚を養う。

【今年度の取組】

今年度からは、旅行業務に加え安全な登山が実施できるよう、現地の登山ガイド3名を依頼し、登山中の緊急時における山小屋との対応が迅速に図れるようにした。

【成果の動向】

旅行業務を委託したことにより事務量が軽減された。

また、参加者が安全に事業に参加できるよう、登山ガイドを配置したことにより、引率者の負担軽減も図られた。



参加者全員の寄せ書き

【今後の事業の方向性】

守谷市として31回目の実施となった。国の施策において、社会教育・学校教育の両面から子どもの体験活動の推進が求められる中、富士登山を通して、感動したり、驚いたりしながら考えを深め、実際の生活や社会、自然の在り方を学んでいく機会を提供する事業である。

今後も、子どもたちの成長の糧であり、「生きる力」をはぐくむ基礎となる体験活動として、事業の実施を継続していく。



第31回中学生富士登山山頂での記念撮影

10050111 国民体育大会開催事業

決算書P. 441

(単位：千円)

	平成28年度	平成27年度	差	主な名称
事業費	10,011	3,000	7,011	
国庫支出金				
県支出金				
地方債				
その他				
一般財源	10,011	3,000	7,011	

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

平成31年度の第74回国民体育大会「いきいき茨城ゆめ国体」開催の準備を進めるため、守谷市・常総市・坂東市がハンドボール競技共同開催地として必要な事業を行い、ハンドボール競技の普及とスポーツの振興に寄与するとともに、市民一人ひとりが国体に参加する機運を高め、市全体で国体を盛り上げ、協働のまちづくりの推進につなげる。

【今年度の取組】

常総市・坂東市との共同開催に向けて実行委員会を設立した。

組織運営を円滑に行うため、守谷市・常総市・坂東市職員による事務局を設置した。

【成果の動向】

3市共同事業として年次積立を行うことで国体開催年に掛かる経費を抑えることにつながり、事務局運営の成果も向上している。

今後は国体ボランティアを募集するなど、市民が活躍できる場を提供することで、国体に参画する市民を増やし、更なる成果の向上を図る。

【今後の事業の方向性】

開催地として大会を盛り上げるとともに、市民に、全国レベルの大会を観戦する機会と大会運営や市民運動に携わる機会を提供する。



中学校吹奏楽部と大会マスコットキャラクター「いばラッキー」の共演(MOCOフェスタ)

	平成28年度	平成27年度	差	主な名称
事業費	907	948	△ 41	
国庫支出金				
県支出金				
地方債				
その他				
一般財源	907	948	△ 41	

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

夏休み期間中の児童への安全な活動場所を提供するとともに、公共の場における公德心を養う。

【今年度の取組】

開放期間を9月中旬まで延長し、利用拡大を目指す。

【成果の動向】

子どもたちの夏休みの過ごし方は多様化しており、参加者の増加は難しい。

【今後の事業の方向性】

市内民間施設等、利用可能な施設を増やすことにより参加者の増加を目指す。